

必要経費の目安

ご旅行代金の他に別途下記の料金がかかります。
※詳細は、渡航手続き書類にてご案内申し上げます。

- ◆空港施設使用料 / 国際観光税 / 海外空港税・燃油特別付加運賃 (89,000円) 上記は2025年4月現在の金額です。航空券の発券時点でレートは変動いたします。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
- ◆渡航手続諸費用 (パスポートを新規取得、更新の方): パスポート新規申請代 (5年用11,000円 / 10年用16,000円 / 各自治体の戸籍謄本・住民票発行手数料や写真代別途要) このご旅行には2025年10月27日以降のパスポート有効期限が必要です。(+2週間以上の有効期限が望ましい)
- ◆お一人部屋追加料金: 79,000円 (ホテルは基本2名一室です)
- ※お一人参加で相部屋をご希望の場合、最終的な部屋割りによってはやむを得ずお一人部屋追加料金を頂戴することがございます。予めご了承くださいませ。
- ◆任意の海外旅行保険
- ◆超過手荷物料金: 規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金
- ◆個人的費用: 旅程表に明記されていないものの費用 (食事代、飲み物代・自由行動時の諸費用等)
- ◆ご自宅～発着空港までの交通費



ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。この旅行は2025年4月1日現在を基準としています。

■旅行契約の解除
参加者が最少催行人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の23日前迄にお知らせします。
<取消料>
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。

<解除時期・取消料>

契約の解除期日	
旅行開始後日の前日から起算して遡って30日目以降	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日以降	旅行代金の50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加	旅行代金の100%

ご旅行要項

- 旅行代金に含まれるもの
 - ①企画手配料金および手配料金 ②交通費: 旅程に明示した航空運賃、旅程に明示した専用車料金、列車料金 ③宿泊費: 下記ホテル又は同等クラスのホテル(弊社基準)の基本宿泊料および税、サービス料 マドリッド=バイメリア、ノホテル、エンペラドール、プチパレス/ビルバオ=NH、イルニオン、メルキュール、バルセロナ=グランホテル、バルミーノ、リアルト、ユニバーサル(基本2名一室)
 - ④食事代: 旅程表明示 ⑤見学施設の入場料 ⑥現地協力者の謝礼・同行費用 ⑦講師謝礼・同行費用 ⑧添乗員1名同行費用 ⑨視察費用
- 旅行代金に含まれないもの
 - ①旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
 - ④個人的費用: 旅程表に明記されていないものの費用・食事の時の飲み物代・自由行動時の諸費用等
 - ⑤航空会社が課す日本港施設使用料・国際観光税・海外空港税・燃油特別付加運賃89,000円(2025年4月現在※航空券の発券時点でレートは変動します。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。)
 - ⑥お一人部屋料金: 79,000円
 - ⑦日本国内の交通費、前泊の費用
 - ⑧海外旅行傷害保険料 ⑨オプションツアー代



伊藤千尋さんと行く旅シリーズ

スペイン内戦の歴史を学び 平和のシンボル「ゲルニカ」を訪ねる旅

旅行期間 2025年7月27日(日)~8月5日(火) 10日間

旅行代金 785,000円 (成田発着) ※左記費用の他に航空便費用に付随する海外空港税・航空保険料等・日本空港施設使用料・保安料89,000円がかかります。発券時のレートにより変動いたします。差額は返金・又は集金させていただきます。

定員 25名様 (最低実施人員15名) **申込締切** 5月30日(金)

添乗員 1名同行します



伊藤 千尋さん
(いとう・ちひろ ジャーナリスト)

1949年山口県生まれ。東京大学法学部卒業。大学時代の71年にキューバで砂糖キビ刈り国際ボランティアに参加。73年、東大「ジブシー」調査探検隊長として東欧を旅する。74年、朝日新聞に入社。サンパウロ支局長、バルセロナ支局長、ロサンゼルス支局長などを歴任、40年にわたり主に国際報道の分野で取材を続けた。2014年に朝日新聞退職後も、フリーのジャーナリストとして各国の取材を続け、精力的に執筆と講演を行っている。「コスタリカ平和の会」共同代表。「九条の会」世話人。東京都狛江市在住。主著に『凜とした小国』『9条を活かす日本 15%が社会を変える』『連帯の時代』など。

- ### 旅のポイント
- 第二次世界大戦の前哨戦・スペイン内戦の歴史を学びます
 - 反ファシストの日本人ジャック白井のゆかりの地をたどります
 - 無差別爆撃があったゲルニカの町訪問と反戦のシンボル・ピカソの名画「ゲルニカ」鑑賞
 - 建築家の巨匠「ガウディ」の数々の作品を堪能

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第84号 JATA正会員

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで

〒231-0062 神奈川県横浜市中央区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4
総合旅行業務取扱管理者: 西須 輝理

営業時間: 月～金曜日 / AM10:00～PM6:00 (休業日: 土日・祝日)
ホームページ: <http://www.fits-tyo.com/>

株式会社 **富士国際旅行社**
TEL: 045-212-2101 FAX: 045-212-2201
Mail: henshu@fits-tyo.com 担当: 西須・山田

- ### お申込方法
- ①【紙で仮予約の場合】下記の予約票にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送またはFAXでお送りください。予約票が届き次第、旅行社より取引条件説明書面とお申込書を他の必要書類とともにお送りいたします。
 - ②【ウェブで仮予約の場合】下記QRコードにアクセスし、仮予約フォームを送信下さい。
 - ③ 弊社よりお送りするご案内書面に記載の銀行またはゆうちょ銀行に、**申込金50,000円**(旅行代金内金)をご送金ください。(申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込)
 - ④ ツアー実施確定後、弊社よりご連絡いたします。 ⑤ 出発2週間前に旅行説明会を行います。

き・り・と・り

株式会社 富士国際旅行社 宛

参加予約票 伊藤千尋さんと行くスペイン内戦の歴史を学び平和のシンボル「ゲルニカ」を訪ねる旅 2025年7月27日(日)発

パスポート ローマ字表記	性別	生年月日	年 月 日生 ()才	ウェブ仮予約はこちらから↓
氏名	男・女	パスポート	有効旅券(パスポート)【有・無】 パスポート番号: 有効期限: 年 月 日	
住所	(〒 —)			
連絡先	【tel】 () —	【fax】 () —		
	【携帯】 —	—		
	【e-mail】			

Peace Green Humanity

(株)富士国際旅行社

※写真は全てイメージです

旅行企画・実施

〒231-0062 神奈川県横浜市中央区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4

日 程 表

日次	都 市	交通機関	行程・宿泊地・食事（朝・昼・夕）
① 7/27 (日)	東京・成田発	航空機	成田空港集合（集合予定時刻：午前9時30分頃）
	乗り継ぎ地着/発	航空機	空路、乗り継ぎまたは直行便を利用し、スペインの首都マドリードへ 機 中 泊 朝×昼×夕機
② 7/28 (月)	マドリード着	専用車	着後：マドリード市内見学 *ソフィア王妃芸術センター（「ゲルニカ」の鑑賞） *プラド美術館 マドリード泊 朝○昼○夕○
③ 7/29 (火)	マドリード	専用車	終日：マドリード市内見学 *反ファシストの日本人 ジャック白田ゆかりの地訪問 *ピリャヌエバ・デ・ラ・カニヤータ（戦死の地） *フエンカラル（無名戦士たちの墓） マドリード泊 朝○昼○夕×
④ 7/30 (水)	マドリード発 ビルバオ着	航空便	午前：国内線でビルバオへ 午後：ビルバオ市内見学 ビルバオ泊 朝○昼○夕○
⑤ 7/31 (木)	ビルバオ発 ゲルニカ着	列車	午前：近郊列車でゲルニカへ（約1時間）
	ゲルニカ発 ビルバオ着	列車	着後：無差別攻撃のあったゲルニカの町を訪問 *ゲルニカ平和博物館 *バスク議事堂 ビルバオ泊 朝○昼○夕×
⑥ 8/1 (金)	ビルバオ発 バルセロナ着	航空便	午前：国内線でバルセロナへ 着後：バルセロナ市内見学 *カタルーニヤ歴史博物館 バルセロナ泊 朝○昼○夕○
⑦ 8/2 (土)	バルセロナ	専用車	終日：バルセロナ市内見学（巨匠ガウディの建築作品めぐり） *サグラダ・ファミリア *グエル公園 *カサ・ミラ バルセロナ泊 朝○昼○夕×
⑧ 8/3 (日)	バルセロナ	専用車	午前：バルセロナ市内見学 *モンジュイックの丘 *ミロの美術館 午後：自由行動 バルセロナ泊 朝○昼○夕○
⑨ 8/4 (月)	バルセロナ	専用車	朝：専用車で空港へ
	バルセロナ発 乗り継ぎ地着/発	航空便	バルセロナを出発 空路を乗り継ぎ、帰国の途へ 機 中 泊 朝弁昼×夕機
⑩ 8/5 (火)	東京・成田着	航空便	成田空港着後、解散（到着予定時刻：午前10時00分頃） 朝機昼×夕×

※現地の都合により、訪問順序・日時が入り替わる場合がございます。 ●利用予定航空会社：イベリア航空など ●機内食は、航空運賃に含まれる航空会社が提供するサービスです。有料あるいはサービスがなくなった場合は各自でお取りいただきます。 ●利用予定ホテル：マドリード＝バイメリア、ノホテル、エンペラドール、プチバレス/ビルバオ＝NH、イルニオン、メルキュール、バルセロナ＝グランホテル、バルミーノ、リアルト、ユニバーサル または同等クラスのホテル

マドリード

無数の美術館や歴史的建造物が立ち並ぶ文化都市。病院を改修して作られたソフィア王妃芸術センターで、パブロ・ピカソが描いた『ゲルニカ』のオリジナルを鑑賞できます。海拔655mに位置し、年間を通じて晴天の日が多く乾燥していて過ごしやすい場所です。



バルセロナ

フランコ政権下では禁じられていたカタルーニヤ語も復活。'92年のオリンピック開催以降最も活気のある都市です。1882年着工から未完のサグラダ・ファミリア（聖家族教会）他、ガウディの独特な建築作品を訪ねます。



スペイン料理

旅の醍醐味 食!

他のヨーロッパ諸国同様食料自給率の高いスペインは、それぞれの土地で採れた食材を地域の特色ある調理法で食するので地域ごとに食事のバラエティが豊かです。オーブオイル中心ですのでヘルシーで日本人にも好まれます。スペイン人の社交場のバルにもぜひ立ち寄りたいたいところ。



スペイン戦争（内戦）

1936年7月～39年3月、スペインでの人民戦線政府（共和国派）とフランシスコ・フランコの指揮する軍部（反乱軍）の間の内戦。イギリス・フランスは不干渉政策をとったが、ドイツ・イタリアは反乱軍を、ソ連と国際義勇軍が政府を支援して国際的な戦争の様相を呈し、また第二次世界大戦に先行する戦争となった。1937年4月26日スペイン北部の町ゲルニカを、フランコを支援するドイツが空爆し、300人の市民が死傷した。

反乱軍は1938年12月カタルーニヤを攻撃しバルセロナを制圧、1939年にはマドリードに進撃しフランコの勝利で内戦は終結した。この内戦で家族内、隣近所、友達同士が敵味方に別れた。戦闘員以外にも多数の市民が政治的、宗教的立場の違いのために双方から殺害され、また内戦終了後フランコは人民戦線派を激しく弾圧した。特に自治を求めていたバスクとカタルーニヤには、バスク語やカタルーニヤ語の使用を禁じ、自治の要求を圧殺している。そのため、人民戦線側の残党の中から多くの国外亡命者が出たほか、ETAなど反政府テロ組織の結成を招いた。

第二次世界大戦が勃発すると、内戦で荒廃したスペインは中立を宣言した。戦後、ファシズムの影響が残るフランコ独裁体制は各国から敬遠された。しかし、米ソ冷戦によりアメリカとの関係が改善され、1975年にフランコが83歳で亡くなるまでその体制は続いた。フランコの死後、後継者は前国王アルフォンソ13世の孫ファン・カルロスが指名されブルボン朝が復活した。ファン・カルロス1世は政治の民主化を推し進め、スペインを西欧型の議会制民主主義および立憲君主制国家へ転換させた。2010年にETAは武装闘争の停止を発表し、スペインは平和な国として現在に至っている。

バブロピカソ「ゲルニカ」の物語

スペイン内戦の最中の1937年4月26日、フランコの反乱軍を支援するドイツ・ナチスは、人民戦線の拠点のあるバスク地方のゲルニカを爆撃しました。当時、空爆の対象は軍事基地に限られていましたが、ナチスドイツは、世界で始めて、市民を対象とした無別爆撃を行いました。すでにスペイン人画家としてパリで有名になっていたバブロピカソは、スペイン人民戦線政府の依頼で、パリ万博のスペイン館の入り口ホールを飾る依頼を受けていましたが、ゲルニカの爆撃を知り、フランコやナチスドイツなどファシスの至行を世界に告発する目的で、この「ゲルニカ」の絵をわずか1か月で書き上げ、1937年7月12日、パリ万博で公開しました。万博終了後も、スペインの人民戦線への救援活動の一環として、イギリスやノルウェーなどで巡回展が開かれ、アメリカに渡ります。フランコ政権は、ニューヨーク近代美術館にある「ゲルニカ」の返還を要求しましたが、ピカソは、フランコによる独裁政治が終結し、「スペインの人々が再び自由を手にするまで、ゲルニカはスペインに返さない」と返還を拒否します。ピカソは、1972年に死去しますが、フランコも1975年に死去し、スペインに民主主義が戻った1981年に、ピカソが館長をすることになっていたプラド美術館に返されます。右翼からの破壊工作から守るため、防弾ガラスに囲まれて別館に展示されていましたが、10年後には、新しく開館した、ソフィア王妃芸術センターに移されて現在に至っています

旅のポイント・見学地

スペイン内戦の跡地とカタルーニヤ歴史博物館

スペイン内戦に置いて、人民戦線の拠点があったバルセロナには今も内戦の戦跡が残っています。今回訪れるカタルーニヤ歴史博物館にも、当時の展示説明があります。



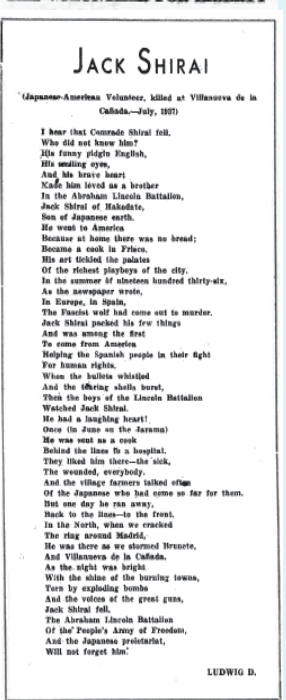
ジャック白井とは

北海道函館市出身。15歳の時に孤児院を飛び出し、カムチャツカ航路の貨物船に雇って貰い船員となり、1929年にアメリカに密入国。ニューヨーク市でパン職人や料理人として働いた。そしてアメリカ共産党系の日本人の労働者団体である「日本人労働者クラブ」に属し、労働運動に身を投じた。1936年スペイン内戦が始まると、アメリカ共産党の義勇兵募集に志願し、スペインへ旅立った。マドリード防衛戦、ハラマ河の戦いなどの激戦を経験。白井は初め炊事兵とされたが、その後戦闘時は銃を取って前線に出るようになった。1937年7月11日、ブルネテの戦いで白井は弾雨の中立ち往生していた炊事車を動かすために陣地を飛び出した直後に頭を銃弾で撃ち抜かれ即死したという。墓碑



には「ジャック白井。反ファシストの日本人。彼の勇気を称えて。1937年7月11日」と刻まれている。国際労団の機関紙「THE VOLUNTEER FOR LIBERTY」に白井の追悼詩が2度掲載された。

THE VOLUNTEER FOR LIBERTY



ソフィア王妃芸術センター

ゲルニカ平和博物館

ゲルニカ平和博物館は、1937年4月26日のゲルニカ爆撃の悲劇から着想を得た、平和文化をテーマにした博物館です。博物館は、品物、画像、視覚セクション、文書メッセージを巡りながら、様々な考えが生まれ出せるようになっています。博物館は、人類が長い間討論してきた論争に答えを出すことはできません。しかしながら見学者が、自ら答えを出すべき質問を生み出すための思考に火をつける導火線になることはできます。博物館は三つの大きな質問に沿って配列されています。「平和とは？ゲルニカ爆撃が私たちに残したものは？世界平和の現状は？」

バスク議事堂

何世紀もの間、バスク人の伝統的な調会は「ゲルニカのオークの木」の下で開かれてきました。バスク人にとってこの木は自由の象徴であり、オークの木は代々植え替えられてきました。本のそばには集会場が建てられ、1826年に建てられた現在の議会場と兼用されています。ビスカヤ県政府は大都市のビルバオにありますが、議事堂は変わらずゲルニカに置かれています。

